

新道の駅整備

町経済への導線として期待

町内経済への波及効果を  
もたらす取り組みへ



豊間根 信 議員  
(政 和 会)

# 新型コロナウイルス 感染症対応施策は

## 円滑な接種体制構築と 経済活動支援策を実施

**問** 当町のワクチン接種実施体制について問う。

**佐藤町長** 町内3医療機関を接種会場とした個別接種とし、国のマニュアルに沿ってそれぞれの会場に必要となる人員を医療機関に派遣しての実施準備を進めていく。

**問** コロナ禍による経済低迷に対する支援対策事業の内容とその効果及び今後の経済対応施策は。

**町長** プレミアム付き商品券事業は1月末で終了したが、この半年間で約1億3千万円分の購買活動につながった。現在、第3次の地方創生臨時交付金を活用した新たな事業を検討しており、引き続き感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた施策が迅速に展開できるように準備を進める。

**問** 新道の駅の4年度中の開業を目指し、公募による運営候補者選定方法を含め、町全体へ波及効果をもたらす位置付けとしてその詳細及び今後の展開について問う。

**町長** 運営候補者は、町内外を問わず広く公募する考えであるが、地域経済の振興及び地域性のある運営を実現する観点から、地元事業者を優先的に取り扱う方針を進める。訪れる観光客等が町内各所を周遊、滞在することにより町内経済への波及効果をもたらす仕掛けづくりが重要である。まちなか交流センターに設置する「震災伝承ギャラリー」や織笠大橋付近に整備している「展望広場」、「鯨と海の科学館」を中心とした船越地区の

体験観光スポットなどの資源を活かし、観光客等呼び込む取り組みを進めていく。

**問** 復興からその先を見据えた山田の経済の入り口となる新道の駅から各スポットへの行ってみたいくなる遊び心をもったネーミングも重要ではないか。

**川守田復興企画課長** 検討してみたい。

### SDGsへの具体的取り組みは

#### 第9次総合計画後期基本計画に

**問** ゴールを目指し結果を実現するためにどのような連携施策に取り組んで行くのか。

**町長** 持続可能な世界を



リニューアルでさらなる魅力発信「鯨と海の科学館」



期待される新たな絶景スポット「展望広場」(織笠大橋付近)

実現するために、第9次総合計画後期基本計画において、SDGsの理念と合致する施策を明示し取り組み、各課が連携して進めるとともに、住民への理解の醸成、普及啓発も図っていく。